

令和7年度第1回宇陀市総合計画審議会

日時：令和7年5月27日(火)

午後1時30分～

場所：宇陀市役所 4階大会議室

1. 開会

出席 16名 欠席 4名

副市長あいさつ

鴻池副市長：

第2次宇陀市総合計画については、平成30年からスタートし12年間で1つの括りとし、この12年間で前期・中期・後期と4年で1つの計画を作っている。総合計画は、基本構想と基本計画からなり、基本構想については、基本理念を既に策定している。それを12年間で達成していく考えで進めている。6つの目指すまちの姿を将来像の中につけており、24の施策の方向性を示して、53の施策を設けている。

先ほど説明があったように、令和8年度は、後期の総合計画を策定しなければならない時期になっている。最後の4年間の総まとめの計画を皆様とつくっていかれたらと思っている。ご承知のように、人口減少、少子高齢化等、宇陀市を取り巻く課題はあるが、少しでも改善できるよう、皆様とともにいい計画をつくっていききたい。

今回の審議会は、委員の方も変わられたが、既に市民向け、子育て世代向け、若者向け等のアンケート調査をさせていただいている。アンケート調査に基づいて今後の施策を展開していくわけだが、いろんな傾向が出ているので、その傾向も事務局から説明させていただきながら、皆様のご意見も賜りたい。本日はよろしくお願いしたい。

2. 委員の委嘱

3. 会長・副会長の選任

伊藤会長あいさつ

伊藤会長：

先ほど皆様からのご信任を得て、前期、中期に引き続き、会長を務めさせていただくことになった。この会議では、皆様と議論を積み重ねていって宇陀市の総合計画をよりよいものにしていきたいので、どうぞよろしくお願いしたい。

4. 市民アンケート等の調査結果（速報値）について

- ・ 市民アンケート等の調査結果（速報値）について

【資料1】 事務局より説明

伊藤会長：

説明内容について、ご意見、ご質問、ご感想があれば頂戴したい。すぐにはご理解できないかと思うが、素朴な疑問で結構なので、何かないか。

大門委員：

森林組合の関係で出席しているが、第一次産業の林業分野で日々業務を遂行している。農業、林業、漁業をひっくるめて、第一次産業という言い方をよくするが、この3つの農林水産業をセットで言い表すこともよくある。それぞれが同じ系統かといったら、いささか中身が違う所があるだろうと日々感じている。

農業面の施策の充実が林業面の充実を判断することはないと思うが、こういうアンケートの取り方であれば、農業面の施策について、農林水産業というくくり方をすると、林業面にもその施策を展開していくといった、中身が伴わないような表現ではないかと感じるところがある。それに関して、8ページには、農林畜産業経営の強化という言葉が載っている。印象的に言うと、農業面の強化の姿勢が表れているが、林業面の強化とは違う内容になっている。農業、林業、畜産業の3つをくくって扱っているが、林業の強化に関しての満足度はさほど高いことはないという印象を持っている。

伊藤会長：

ご意見の意図は、農林畜産業経営の強化とあるが、農業、林業、畜産業のそれぞれで強化の内容は違ってきて、それぞれの産業に従事しておられる方々にとっての満足度は違ってくるはずで、その辺りは細かく分析してほしいということだと思う。事務局から何かあるか。

事務局（田中課長）：

おっしゃるとおり、農林畜産業すべてを含めて考えてしまうと、それぞれの産業に携わっている方にとって、一様な施策をしてしまうことは、不具合が出ると思っている。今、こういった表現になっているが、この項目の下に各担当課で進めている事業がたくさんあり、農業、林業、畜産業それぞれの事業を宇陀市としても力を入れて進めている。今、頂戴した意見をしっかりと担当課に伝えて、林業にも力を入れて後期計画に反映させてまいりたい。

伊藤会長：

先ほど説明の中で、満足度・重要度の評価値の算出方法を説明されたが、この資料にはその算出方法が書いていないようだが、どこかに書いてあるのか。

事務局（田中課長）：

183 ページの上に少しだけ書いてあるが、実際に算式を書いているわけではないので、わかりにくかったかもしれない。

伊藤会長：

説明を聞いたらわかったが、これを見られた方が、数値がどのように出ているか、よく分からないので、その算出方法をどこかに書いておけば、より親切ではないか。ほかの方はいかがか。

杉本委員：

宇陀市の連合自治会長をしているが、室生地域の自治会長もしており、既に役員会が一度あった。その際、役員会の研修のテーマは何かと言われたので室生地域事務所の方に相談した。市への転入者に外国人が多いようだが、白馬村のような事例をもう少し深めて調べていただきたい。特に宇陀市の中でも、室生地域は高齢化率が高く、人口減少率が著しいので、お願いしたい。われわれがインターネットで見る程度ではなく、市の方に内部的な調査をしていただくと、もっと深みが出るのではないか。

アンケート結果を綿密に分析していただいたが、後期を見据えた中期計画の中で、アンケート結果をどの程度のウェイトで施策に反映していくのか。8割ほどアンケート結果を頼りに指針にして進めていくとか、査定していくとか、後期計画を決めていくということばかりでは、受け身すぎる気がする。

場合によっては、しばらくの間は痛みを伴うかもしれないが、4年後には結果としてはいい結果が出るという能動的なデータベースも要るのではないか。ネットに出てくるようなランキングばかりではなく、市の職員ならではの情報もあるのではないか。そういうものも何パーセントかは盛り込まないといけないのではないか。

特にアンケートというのは、他府県の事情を知った上で、より宇陀市が住みやすいのか、ずっと住み続けたいかという答えが出てくると思うので、もう少し相対的なデータがないことには、客観性に欠けると思う。資料を拝見すると、アンケート結果ばかりになっているので、これだけで全部決めていくのは、いかがなものか。客観的な施策に反映できるような材料も集めていただくことが、この会議では大事ではないか。

事務局（田中課長）：

2月に実施した審議会でご承認いただいたので、アンケートを取らせていただいた。その内容をまとめて資料をつくり、速報値としてご報告している。アンケートの位置づけとしては、市民の皆様が市政にどのようなニーズや課題意識をお持ちなのか、把握するたいへん重要な手段と認識している。市民の皆様の声を真摯に受け止めて、施策に反映することによって実効性の高い計画になると考えている。

アンケートの結果だけを受けて計画を策定するのは、危ういのではないかというご意見だったかと思う。この審議会が終わった後、本日頂戴したご意見等を参考にしながら、庁内で検討を進めさせていただく。例えば、市役所、出先機関も含めて、すべての課を対象にヒアリングをして、今、各課にどのような課題があって、今後、どのように対応していくのか、意見を聞かせていただく。また、6つの部会があるので、部会ごとに検討を進めさせていただく。市民の方々の声を参考にしながら、庁内でも十分に検討を進めた上で施策に反映して、計画をつくらせていただくので、ご理解いただけたらと思う。

伊藤会長：

確かにアンケート調査の結果が実態を本当に表しているのかどうか、不確かである。後ほど議題にも挙がっているが、市民の本当の声を別のかたちで聴取して、それと照らし合わせて、もう少しアンケート結果を深掘りし、施策に活かしていくことになるだろう。ほかには、いかがか。

山田委員：

私は宇陀市で生まれ育ってずっと住んでいて、仕事もここから通っている。アンケート結果は見せていただいたが、転入の方も転出の方もおられる。ただ、私の住んでいる伊那佐地域を見ると10年後はもうないのではないかとと思っている。宇陀市の第一次産業の農林業は、我が家も一緒に、今年の田植えが終わり、山の手入れもした中で、10年後を見据えたら、もう続けられないのではないかとと思っている。

前にどこかでお話ししたと思うが、転入された市民には補助がたくさん出ているが、私のように代々田畑を守っている者には何もないというのが気になる。生活基盤として、例えば、上水道を通すときも負担したし、下水道を付けるときも負担した。しかし、生活の基盤という当たり前のところへの補助が薄れているので、転出される方も多いのではないかとと思っている。

結婚、就職という理由で転出されているのは、私も重々わかっている。室生、大宇陀、菟田野と榛原の一部もそうだと思うが、なぜ、田畑を守っていくために外から来てもらわないといけないのか、これがそもそも問題だと思っている。いろいろと頑張らせていただいているが、そもそも中山間地区の多い宇陀市で、もともと田畑を守っていた人たちがなぜ住めないのか、今後はアンケートに入れてもらわないといけないのではないのか。そもそも補助が出ないから、田畑をやめて土地にソーラー発電が増えることも出てくると思う。

それから私は福祉にも関わっている。介護予防については、だいぶいろいろとさせていただいているが、まだ発信不足だろうと思う。ただ、このアンケートにどういうことをしているのか、浮かび上がってきていない。今後、聞ける機会があれば、聞かせていただければと思っている。

伊藤会長：

事務局から何かあるか。

事務局（田中課長）：

おっしゃるように、転入してくる方には移住支援金といった手厚い施策をしているが、これまで宇陀市にずっと住んでこられた方には、あまり補助的な取組をしていなかったのは確かなので、反省しないといけないと思っている。市民アンケートの中で、宇陀市に住み続けたいという方が減って、どちらかと言うと住み続けたくない方が増えているのが回答に表れていると思う。こちらについては、今後、庁内で検討を進めていく上でしっかりと対策を考えてまいりたい。

頂戴したご意見はしっかりと伝えさせていただくので、施策に十分に反映していきたいと思っている。

伊藤会長：

ほかの委員の方、よろしいか。私から一言。先ほど補足資料の中で、1～4 人という非常に小規模事業所がいちばん多くて、なおかつ、活動年数が 31 年以上というのが多かった。この方々が長年宇陀市で頑張っていただいている。今後、続けられないかもしれないという不安を非常に持っておられるので、しっかりとサポートしていかないと、宇陀市が活力を失ってしまうと思う。今後の施策の活かし方に対して参考になるので、現状を踏まえて検討していただきたい。

福山委員：

事務局から回答していただいた点について、厳しい指摘になるかもしれないが、発言したい。7 ページの職員アンケートだけが満足度も重要度もプラスになっているが、市民との乖離が少しある。先ほど各課で施策を出すと言われたが、市民にフィットしたものが果たして職員だけから出るのだろうかと不安になるので、市民を入れるといった工夫をしたほうがいいのではないか。職員だけでつくるのではなく、市民参加といったことは考えておられるか。

子育て世代はかなり満足しているような回答を得られているといった説明だったが、このアンケート項目や施策が子育て世代にフィットしているかといったら、なかなか難しいのではないか。給食センターの建設、こども園の整備は、重要な課題なので、選ばれていると思う。転出者の方が、2 番目に子育て世代の支援の充実を掲げられているのは、何かしらの思いがあって、市外に出られていると思う。数字だけで捉えずにもう少し吸い上げられるような仕組みづくりを考えてやっていただきたい。

伊藤会長：

事務局から何かあるか。

事務局（田中課長）：

今後、職員だけで検討していくのかという1つ目のご質問については、この後、説明をさせていただくが、庁内での検討に加えて、市民の皆様と一緒に考える場として、必要に応じて、座談会やワークショップ等の開催を考えている。そういった場で市民の皆様の生の声を聞かせていただき、施策に十分に反映できたらと考えている。

2つ目、職員アンケートでは、子育て世代の満足度が高く出ているが、市民の声と乖離があるというご指摘については、私どもも十分に認識している。回答した母数が市民に比べて少ないこともあるため、もしかしたら、意見が偏っている懸念はある。繰り返しになるが、今後、子育ての団体にお伺いした上で、意見を聞かせていただきたいと考えている。アンケート結果が真に正しいのかどうか、見極めていく必要があると思っている。

伊藤会長：

ほかの委員の方はいかがか。

大西委員：

7ページで職員が満足しているが、市民は満足していないという結果は、同じ行政の立場としてショッキングな説明であった。私が見たところ、宇陀市は県の東部地域の中心都市でもあり、いろんなことに力を入れて頑張っておられると思っている。ただ、この結果は残念で非常にショックを受けており、市の職員も同じではないかと思っている。

福祉、医療について満足しているのは、市立病院をお持ちだからだと思っている。

県の立場は市よりも市民とは少し離れた所にいるので、机上で話をしているのと、市町村民、県民に直接意見を伺うのとでは認識のずれが生じると感じている。また、宇陀市の中でも、地区によっては状況が違うと思う。市の職員は市民に接する機会が多いと思うので、今後の施策に活かすために、アンケートだけではなく、広く市民の意見を聞かれる等、いろんなチャンネルを持っておかれたほうがいいのではないか。

伊藤会長：

事務局から何かあるか。

事務局（田中課長）：

おっしゃるように、地域ごと、年代ごとで回答の傾向が違っている。榛原地域以外の所では、公共交通の利便性が悪いといった回答が多く、ご高齢の方についても同じような傾向が出ている。若い人は車に乗られるため、公共交通については意識されておられない気がする。

すべての年代について、特に市民アンケートは高齢の方に偏っているように見受けられるので、今後、ワークショップ、座談会等、いろんなかたちでデータを取りながら計画に反映させてまいりたい。

伊藤会長：

今まで頂いた意見をお聞きしていると、アンケート結果がどれだけ実態を表しているのか、できるだけ実態に近づけていくような努力が必要であるということが1つ。また、市民の感覚と職員の感覚がずれているのではないかというのがもう1つ。この辺りも何らかの方法があるはずなので、今後の課題として、後ほど説明があるかもしれないが、この2つが基本的で大きな問題と思った。

特になければ、次の議題に進んで、後の時間で意見があれば、頂戴したい。

5. 市民アンケート等の調査結果(速報値)について

- ・ 後期基本計画策定における市民等の意見の反映方針について

【資料2】 事務局より説明

伊藤会長：

今、説明があったように、市民等の意見の反映方針が示されたが、皆様からどんな所で意見を聞く場所や機会があるといったご意見があれば、頂戴したい。

福山委員：

常日頃、感じているのが、各種団体に聞き取りをするといったときに、宇陀市の実状では、任意団体では後継者がなかなか育っていないといった特徴があると思う。女性の会もまちづくり協議会も各種団体の代表をさせていただいているが、本当にたくさんの意見になるのか疑問に思う。PTAや高校の育友会というのかわからないが、そういう所に赴いていただいて、意見を聞いてもらいたい。なかなか既存の団体では、いろんな意見が集約できるのか、疑問がある。

このアンケートも私の家には、3通来た。もちろん息子とか、名前の対象は違うが、それぞれの世帯に行っているのかという疑問もあるので、この辺が検討していただく、大きな課題だと感じている。

伊藤会長：

事務局はいかがか。

事務局（中尾主幹）：

おっしゃるとおり、高齢化により後継者不足も生じている。PTAや育友会のご意見も聞か

せていただけたらと思う。先ほど説明させていただいた、第3期の子ども子育て支援事業の計画策定時に開催されたワークショップでは、幼稚園やこども園の保護者のご意見も聞かせていただいているので、その辺の意見も取り入れていければと考えている。PTAや育友会に参加できることがあれば、ぜひご意見を頂戴できたらと考えている。

伊藤会長：

ほかにいかがか。

大門委員：

私は宇陀市森林組合の代表なので、林業代表の意味合いの委員だと思うが、宇陀市内には森林組合がもう1つ存在している。宇陀市森林組合は、旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町3つの森林組合が合併してできて20年になる。旧室生村エリアには、室生村森林組合というのがあるので、そちらの意見もぜひ聞いていただきたい。

事務局（田中課長）：

おっしゃるように、室生村森林組合にも意見をお聞きして計画をつくらせていただきたいと思いますと思う。

伊藤会長：

ほかにいかがか。ちょっと気になっているのが、アンケート結果とワークショップや座談会で出てきた結果が違っていたら、どのように修正していくのか、その点はどうか。

事務局（田中課長）：

アンケート結果とワークショップをしたときに違った結果が出てくるともあろうかと思う。ただ、そういった点は貴重な気づきの場として、その違いを担当課等と検討しながら、どこに落とし所を持っていくのか、施策の重要度を持っていくのか、検討させていただければと思っている。

伊藤会長：

できれば、その過程をわれわれに共有していただきたい。

事務局（田中課長）：

承知した。

杉本委員：

その結果、何をどのように気づき、取捨選択したのか、われわれはどんなふう到最后に確

認することができるのか。

事務局（田中課長）：

順番が逆になって申し訳ない。最後に今後のスケジュールをご説明させていただくが、今後、3 回目の 9 月 16 日の審議会である程度、骨子的なものをお示しできたらと思っている。その骨子案を見ていただきながら、ご意見を頂戴できたらと思っている。

伊藤会長：

では、ついでにスケジュールを説明してください。

6. 策定スケジュールについて

・ 策定スケジュールについて

【資料 3】 事務局より説明

伊藤会長：

庁内で作業されたものをわれわれに提示していただくのだが、特に第 3 回目が重要だと思うので、そこで皆様のご意見を頂戴して、最終的な案をつくっていくことなので、今日の資料も参考にされながら、いろいろと考えていただければと思う。今、ご意見等はないか。今日は中間報告、速報値の報告で、最終結果ではないので、また最終結果が示されると思う。

それでは、特にご意見がなければ、後ほどでも結構なので、お気づきの点があれば、事務局まで伝えていただければと思う。本日の審議内容についての意見交換については、これで終わりたいと思う。先ほど皆様から示された疑問点・ご質問等については、これから後期基本計画を策定する上で非常に重要なご指摘であったので、ぜひ積極的にご意見いただければと思う。

できるだけ委員間で情報共有をさせていただいて、お互いに共通理解をした上で進めていきたいと思うので、ご協力のほどよろしくお願いしたい。事務局にはご対応をよろしくお願いしたい。

7. その他

伊藤会長：

それでは、全体を通して何か意見があれば、頂戴したいが、特にないか。ないようなので、事務局から連絡事項があれば、お願いしたい。

事務局（田中課長）：

ご連絡を申し上げる。本日の会議録については、事務局で案を作成したら、各委員の皆様にご郵送して、ご確認をいただいた後、その結果を会長と事務局で調整し、決定したものを

ホームページで公表していきたいと考えているので、どうぞよろしくお願いしたい。

次回の審議会は、7月25日を予定しているので、よろしくお願いしたい。

伊藤会長：

それでは、第1回の宇陀市総合計画審議会を終了する。皆様に感謝を申し上げる。

以上